公開シンポジウム
アクティブ・ラーニング教育実践の10年
～ 愛知県立大学国際関係学科の挑戦 ～

日時：2019年11月1日（金）14:30～16:15
会場：文部科学省情報ひろば（旧文部省庁舎）1階 ラウンジ
・〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2
・東京メトロ銀座線「虎ノ門駅」11番出口直結
公開開催、参加無料、申込不要

◆ 愛知県立大学外国語学部国際関係学科が発足して10年。世界と日本の多言語・多文化状況の中において、自ら能動的に調査し、発信し、社会還元することのできる人材の育成を目指して、様々なアクティブ・ラーニング教育の取り組みを行ってきました。

◆ 今回のシンポジウムでは、これまで本学科が取り組んできた多彩な教育実践を、「授業を立案し実践する教員の側」と「受講しつつ成果を生み出してきた学生の側」の両方の立場から報告し、これまでの教育実践の概要を紹介するとともに、その達成と展望について議論します。

◆ 大学におけるアクティブ・ラーニング、とりわけフィールドワークを中心とした教育のあり方に関心のある教職員、学生・生徒、教育関係者、一般市民の方がたのご来聴をお待ちしています。

○ 主催者挨拶：丸山真司（副学長）
○ 趣旨説明：亀井伸孝（教授）
○ 【トピック1】プロジェクトを通じて学ぶ
　東弘子（教授）・宮原杏奈（学生）
○ 【トピック2】フィールドワークを通じて学ぶ
　亀井伸孝（教授）
　星野佐和（卒業生／京都大学大学院生）
○ 【トピック3】課外活動を通じて学ぶ
　多田隼人・飯間有紀子（学生）
　井上登喜・滝花音（学生）

【関連企画】
企画展示「フィールドワーク写真展: 世界の〈いま〉を切り取る学生のまなざし」を開催しています。
2019年9月2日～12月19日、情報ひろば3階企画展示室にて公開展示中。
どなたでも無料で観覧できます。
シンポジウムご参加とあわせて、こちらもご観覧ください。

主催：　愛知県立大学国際関係学科「フィールドワーク写真展」実行委員会／
　　愛知県立大学新大学誕生10周年・長久手移転20周年記念事業実行委員会
共催：　学生自主企画研究「学生によるマルチメディア広報の評価と実践」／
　　愛知県立大学地域連携センター／2019年度「プロジェクト型演習A」
協力：　学生自主企画研究「在日ムスリム児童が抱える学校教育の課題」／
　　愛知県立大学国際関係学科／
　　愛知県立大学多文化共生研究所

【連絡先】愛知県立大学戦略企画・広報室
Tel: 0561-76-8636
E-mail: kouhou@puc.aichi-pu.ac.jp

花ひらく、底力
I can do, 愛県大。
愛知県立大学は、新大学誕生10周年、長久手移転20周年を迎えました。